

事業紹介 ～合同会社DIPASS～

合資会社羽生惣吾商店の事業を紹介するこの企画。
今回は、グループ会社である「合同会社DIPASS」をご紹介します。
様々な事業を展開するDIPASSにぜひご注目ください!



合同会社 DIPASS
営業本部長
ふじさき ひろたか
藤崎 大隆さん

事業を始めた経緯

私がDIPASSに本格的に携わるようになったのは、2022年の年明けから。元々私が経営していたフィットネスクラブで、ケアサロンやジュニアアスレチッククラブを新しく展開しようと考えていたところ、コロナ禍で経営が落ち込んでしまい、出資してくれる会社を探していたのです。そこで思いついたのが、DIPASSでした。

実は羽生社長と私は、高校時代の先輩と後輩の関係。同じ野球部に所属し、同じ起業家同士、大人になってからも度々やりとりをしていたのです。羽生社長が監督を務める「香取ベースボールアカデミー」で使用していた機材を、私のケアサロンでも使っていたこともあり、その機材を使ってビジネスをもっと展開したい旨を話したところ、了承をいただきました。私が起業前に携わっていた人材業界の知識を活かし、これを機にDIPASSの人材ビジネスも本格的に動かしてほしい、という羽生社長の思いもあったようです。

互いの意見が一致し、DIPASSは人材ビジネスを軸に、ケアサロンとジュニアアスレチッククラブ、飲食の事業を一緒に走らせるという形でスタートを切りました。

事業内容

合同会社DIPASSの事業は、人材派遣や人材紹介などのいわゆる人材ビジネスがメインです。また、その他の事業も幅広く展開しており、現在はケアサロンやジュニアアスレチッククラブ、飲食事業も行っています。人材ビジネスを軸に、私や羽生社長が挑戦したいことを実現させようとしている会社です。

特に力を入れていること

現在は、まず土台となる人材ビジネスを軌道に乗せようと動いているところです。

その1つとして、令和4年から令和7年3月までの期間で行う「地域活性化雇用創造プロジェクト」という国の事業に向けて動き始めています。具体的には、地域の中学校の部活動支援を行う取り組みです。中学校教師の負担を減らす

ため、外部指導者を育成し派遣するという仕組みづくりが、人材ビジネスとしてできればと考えています。

2つ目は外国人技能実習生の工場派遣。多くの派遣先があるなかでも工場分野に絞り、多種多様な人材が快適に働けるような派遣スキームを構築したいと思っています。



当社の強み

様々なことに挑戦できることです。コロナ禍で、自分一人では難しいとなったときでも、賛同してくれた羽生社長とこの会社があったから、実現に向けて動くことができるようになりました。

私のビジネスは、自分がやりたいことを実現すること。近くにいる仲間同士、「一緒にやろうぜ!」と勢いでスタートすることもありました。そのような私にとって、チャレンジできる環境があることは1番の強みであり、魅力だと思っています。

今後の目標

DIPASSの黒字化です。1つの会社として動き出し、軌道に乗れるようになることが当面の目標だと考えています。そのためにまずは土台となる人材ビジネスを確立させ、その他の事業一つひとつも黒字化を目指します。先を見据えて、あとは行動あるのみです!



店舗スタッフ
ごとう ちかこ
後藤 智佳子さん

ラクリスを一人でも多くの人に知っていただき、ファンを増やすことです。サロンの運営を安定させるため、ラクリスを習慣化させ、日常になくはないものにするのでリピーターや予約数を増やし、口コミやSNSにてファンの拡大を図る考えです。そのためにもラクリスの良さを少しでも多くの人に知っていただき、体験していただけたらと思っています。今後色々な会社の福利厚生に取り入れてもらえるような、営業活動やイベントでの体験会、出張サービスなど、様々な施策を実施予定です。特に「紹介」というのが1番大事だと考えております。皆様もぜひラクリスのご紹介にご協力よろしくお願いします。

No Rakulease No Life.





＼ドローンを活用！／

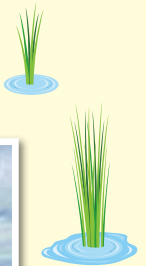
鉄コーティング種子による 直播栽培について



令和4年産羽生惣吾商店では、5名の生産者にご協力いただき、「ちほみのり」「にじのきらめき」「しきゆたか」の三品種の種子を鉄コーティングし、ドローンを活用した直播栽培に挑戦中！
今回は、前回からの成長レポートや稲刈りの様子をお届けします。

「ちほみのり」成長レポート

てんかい さとし
天海 恵之さんの圃場にて



鉄コーティング種子×直播栽培にすることで……

閑散期に種子をコーティングしたことで、
繁忙期の労働時間を大幅削減できました！



茎の長さ、穂の数
ともに問題なく
育っていることが
分かります！

8月27日、稲刈りを実施しました！

4月25日の直播からおよそ4か月……。ついに稲刈りを実施することができました！茎の長さは70cmを越え、ドローンを活用した散布でも、苗が問題なく育っていることが分かりました。
現在、私たちは収穫した稲の収量調査を進めているところ。収量が分かれば、今回の栽培が適切に進められていたのかが判明します。肥料の量や肥料を蒔く時期など、分析結果は来年の栽培に活かせるよう、農家の方々と勉強会を継続していきます。

稲刈りの様子



次回
収量調査の結果から、来年への改善策を大公開！
どんな結果になるのか、ぜひ楽しみにお待ちください。

ソルガムによる耕作放棄地の活用

合資会社羽生惣吾商店のグループ会社である「株式会社惣アグリフーズ」が取り組む、耕作放棄地の活用。力を入れている蓮根、ブロッコリーの他に、牛の飼料として活用されている「ソルガム」について、大崎さんに詳しくお話を伺いました。



株式会社惣アグリフーズ
おおさき たくや
大崎 拓也さん

耕作放棄地の活用として

当社は、農家の方の高齢化や跡継ぎがいないなどの問題で耕作放棄された土地を再生したい、という思いで活動しています。まずは蓮根やブロッコリーの栽培で土地を活用することを進めてきましたが、2021年からソルガムの栽培を試験的に始めました。ソルガムはこれからの可能性を秘めていると考えていますが、まだまだ知る人は少ないため、私達も知見の方から情報やアドバイスをいただきながら進めています。



二期作が可能な生命力の強さ

ソルガムは二期作が可能で非常に成長が早く、2022年5月に種まきをした物が7月には3~4mほどまで大きくなりました。地上約30cmの背丈でカットして収穫し、先日二期目用に水肥を撒いたところ。来年はまた種まきから行う予定です。現在は試験的に3haの規模で栽培していますが、成分分析の結果が良ければ、面積を広げていこうと考えています。

今後の目標

2022年は牛の飼料として成田ゆめ牧場と岩淵畜産に納品することができました。現在は今後の色々な申請をしている最中ではありますが、一期の収量は47t、二期は11月頃の収穫を目指しています。次期に繋がられるよう、分析を進めてまいります。

外国人特定技能者紹介

当グループで働く特定技能者をご紹介します!今回は、アデカリさんをよく知る大坂さんにもインタビューし、アデカリさんのすごいポイントに迫ります。

好きな日本食

鶏の唐揚げが大好きです!

出身国のおすすめ

エベレストが有名です!
スポーツはクリケットが盛ん!

お仕事の楽しいところ

田んぼの草抜きです(笑)
蓮根の収穫も楽しいと思います!

今後の目標と意気込み

蓮根がたくさん成長するように、
これからも草抜きを頑張ります!



出身地:ネパールカトマンズ
アデカリ アルズンさん

アデカリさんをよく知る大坂さんにもインタビュー!

アデカリさんの仕事内容

蓮根、牧草、ブロッコリーの生産を担当。圃場の管理から収穫や出荷まで、広い分野で活躍してくれています。

アデカリさんのここがすごい!

日本語でのコミュニケーションが取れるので、我々も大変助かっています。作業中は明るく、誰よりもよく喋るムードメーカーです!地味で過酷な作業だとしても、前向きに取り組んでくれるので、私も助けられることが多くあります。



おおさか かずよし
大坂 和義さん

K.B.A NEWS



全国大会を振り返って



今月のK.B.A NEWSでは、全国大会を終えた選手の皆さんにインタビュー！
喜びや悔しさを味わいながら成長している、選手の皆さんの思いをご覧ください。



ねもと かいりゆう
根本 魁龍さん

自分たちの力のなさを感じました。練習の成果が発揮できず、チームの目標であった全国制覇をすることができませんでした。今後、全国に繋がる大会はありませんが、この大会で学んだことは次のステップに繋げるための良い経験になったと思います。



みうら はやと
三浦 速仁さん

入団したときから全国制覇という目標で日々練習に励んできましたが、1回戦で楽天シニアさんに7対2で負けてしまいました。チームの課題は本番に弱いことで、楽天戦の敗北理由にもエラーやフォアボールが絡んでいます。これからの半年間は高校へ進むうえで大事な準備期間となるため、日々の練習を大事にしていきたいと思います。



香取リトルシニア

香取ブラックピグレッツポニー



たまい たける
玉井 颯さん

仲間との絆が深まった気がしていて、出場することができて良かったと思っています。全国制覇という大きな目標に向かって、全員野球ができました。今回の大きな経験を活かして、高校に進んでからも頑張りたいと思います。



ふじしま こうせい
藤島 滉成さん

残念ながら最後の試合で、今までやってきたことを出し切ることができませんでした。さすが相手も全国大会の出場チーム。攻めるときは攻める、守るときは無駄なエラーもなく、自分たちとの違いを痛感しました。この全国大会に出たという経験を高校野球にも繋げていきたいと思っています。



とくなが しんたろう
徳永 慎太郎さん

念願の全国制覇をすることができました！しかしチャンスの場面でヒットを打てなかったり、ピンチの場面でエラーをしたりすることがありました。個人的には、決勝で盗塁を許してしまったことに悔しさを感じています。これからも日々の練習に真剣に取り組み、次の大会でも優勝できるように頑張りたいと思います。



ふくだ おうじろう
福田 旺志郎さん

目標の全国制覇を達成することができました。チームの一人ひとりが全力でプレイをしたから、掴めたのだと思います。個人としては、決勝戦で活躍できなかったことを悔しく思いました。次の大会でもチーム一丸となり、一人ひとりが全力を出して優勝を目指します。

香取ピグレッツポニーJr.



香取ライオンズ



はにゅう ももか
羽生 百花さん

全国制覇を目指し、挑みました。1回戦で負けてしまいましたが、チームが1つになって最後まで諦めずに一生懸命試合をすることができました。この大会に参加して、前より仲間との強い絆ができたと思います。



かまがた ひまり
鎌形 ひまりさん

初めての全国大会だったので、とても緊張したのですが、試合ではチーム一丸となって戦うことができました。試合は負けてしまいましたが、先発ピッチャーとして4回を投げて無失点に抑えられたことは、自信へと繋がっています。この経験を活かしてチームを勝利に導けるピッチャーになりたいと思います。



くさかべ まな
日下部 真菜さん

普段できない泊りがけの遠征ができて楽しく思いました。また、チームの雰囲気がとても良く、失敗しても「大丈夫だよ。次はできるよ!」と監督・コーチ・チームメイトが励ましてくれました。ミスを恐れずにプレイすること、励まし合うことの大切さを学ぶことができました。